

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
【プライマリ緩和ケア研修会 I】のご案内
医師・看護師用案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。】

プライマリ・ケアで必須領域である緩和ケアに特化した研修会を開催します。今回はシリーズ研修の初回として「がん緩和ケア知識のまとめ」と「意思決定の支援と療養場所の選択」を行います。参加者は医師、看護師、薬剤師などです。先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。尚、今回の受講者には一連の緩和ケア研修シリーズをご案内いたします。より専門性を高めたシリーズ研修となりますので、是非継続してご参加ください。

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会(プライマリ・ケア認定薬剤師研修会)、地域包括ケア委員会、多職種協働のあり方プロジェクトチーム、生涯教育委員会(生涯教育セミナー)
2	開催日	平成 25 年9月22日(日)
3	研修会場	(株)白寿生科学研究所本社ビル 2階会議室 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 案内図 http://www.hakujuhall.jp/access/index.html
4	認定単位	1日参加で5単位 (医師のみ:プライマリ・ケア認定医・専門医の更新単位として付与)
5	受講資格	医師、看護師、薬剤師、医療職、医療関係者
6	定員	30名(医師、看護師)
7	受講申込	締切り: 9月13日(金)午後5時 別紙の専用 FAX 申込書による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	10000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 8000円 ※ 受講票送付後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
10	受講票送付	受講料の振込が確認された受講者には順次、受講票(ハガキ)を送付いたします。 ※ 受講票(ハガキ)を必ず当日ご持参ください。

※受講までの流れ

FAX 送信申込 → 受講案内送付(振込) → 入金確認済み → 受講票送付 → 受講票を当日お持ち下さい

この研修会は公益社団法人 在宅医療助成 勇美財団の助成を受けています

* 申 込 先 * プライマリ・ケア認定薬剤師短期集中研修会事務局
 〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-5-904 株式会社ヘルストラスト内
 TEL (03) 3409-4037 FAX (03) 3409-4075

プログラム

2013年9月22(日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<p>① がん緩和ケア知識のまとめ 1</p> <p style="text-align: right;">講師:鈴木 央(医師)</p> <p>緩和ケアをプライマリ・ケアの現場で行うに当たり、必要な薬剤の知識、スピリチュアルケア、ケアチームの構成、さまざまな緩和医療の方法について講義を行います。 (細則による必須領域 A,D,G,J)</p>
11:00～12:30	<p>② がん緩和ケア知識のまとめ 2</p> <p style="text-align: right;">講師:鈴木 央(医師)</p> <p>緩和ケアをプライマリ・ケアの現場で行うに当たり、必要な薬剤の知識、スピリチュアルケア、ケアチームの構成、さまざまな緩和医療の方法について講義を行います。 (細則による必須領域 A,D,G,J)</p>
12:30～13:20	昼食 (各自でご持参ください)
13:20～14:50	<p>③ 意思決定の支援と療養場所の選択(がんおよび非がん疾患について) 1</p> <p style="text-align: right;">講師:梅田 恵(看護師)</p> <p>緩和ケアで最も重要なことは本人、家族を巻き込んだ意思決定を繰り返すことです。しかし、その意思決定は支援があって初めて成立します。意思決定の支援の基本となるコミュニケーションをELNEC-J(プライマリ・ケアに携わる看護師向けに開発された教育プログラム)のモジュールを活用し講義します。また、看取りの場を決めるための意思決定についてどのような困難があるのか、緩和ケアという言葉の個々の解釈や、ACP(Advance Care Planning)の必要性などを共に考えていきたいと思ひます。 (細則による必須領域 A,D,G,J)</p>
15:00～16:30	<p>④ 意思決定の支援と療養場所の選択(がんおよび非がん疾患について) 2</p> <p style="text-align: right;">講師:梅田 恵(看護師)</p> <p>緩和ケアにおける意思決定の支援を行うコミュニケーションの場面を取り上げ、ロールプレイを行いたいと思ひます。看取りを行う療養の場の選択において、どのような配慮が必要であるかなどをお考えいただきます。 (細則による必須領域 A,D,G,J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

鈴木 央(医師) 鈴木内科医院副院長、日本プライマリ・ケア連合学会理事

梅田 恵(看護師) 株式会社緩和ケアパートナーズ がん看護専門看護師